

市民活動に関する意見まとめ

1. 現在のみなさんの活動

	①活動内容	②主な参加者	③参加人数
藤久保小学校 PTA	教育委員会から依頼された PTA 文化講習会の開催	教育委員会・学校長・PTA 会員（保護者）	主催の文化委員 10 名、参加者 20 名
	PTA 地区委員会の会議	地区委員会委員	地区委員 50 名程度
ボランティア連絡会	福祉将棋・囲碁の会例会 月 10 回開催（集会所 週 2 回 計 8 回）（藤公 月 1 回 竹公 月 1 回）	会員 将棋 37 囲碁 94 計 81 名（コロナ前） （男 78 名 女 3 名）、主に 60 才以上 主力は 70 才代	役員 8 名、ほぼ毎日 50 名前後が参加 道具は保管（各所に）、人数分有り
	三芳町ボランティア連絡会 例会 月 1 回（藤公にて）、年 1 回の総会は藤公ホールで （現在 12 グループ+個人 2 名）	各グループら 1～2 名が参加 第 3 月曜日 AM 10～12 時、各グループ代表・役員等	10～15 名
協働のまちづくりネットワーク	協働のまちづくりネットワーク 「まちづくりフェア」・・・ ・年 1 回～2 回	協まちのメンバー全員と公民館職員、関係団体 （約 20 団体）メンバーと一般市民	運営側約 15 名、各団体から 50 名ほど、 一般参加者約 200 名前後
	協まちの各グループの定例会 （5 グループ）・・・主に月例 各グループごとの催しもの （例）①週末ホットワーク、②みよし野菜の販売	協まち各グループの委員のみなさん。 教育文化グループと一般市民 産業観光グループと一般市民	各グループ 5 名～15 名（1 回に会合で） スタッフ 6～7 名 一般参加者 100 名前後 スタッフ 5～6 名 一般参加者 50 名前後
区長会	三芳町区長会（毎月 1 回）	三芳町 14 地区行政連絡区の区長（区長代理）出席で、町 からの行政連絡を協議の上、決定して持ち帰り各区に報 告する。	各主管課のスタッフ 5 名～6 名 参加者は 20 名程度
	町からの連絡会議は多々ありますが、藤久保第二区集会所 で行事が使用規定に抵触しない限り集約して行っており ます。		
公募町民	みよしくらす会議（予定） 三芳町で活躍している方のトークイベント ※三芳町の住民同士をつないでいく活動	三芳町で活躍している方、三芳町が好きな方等	未定
社会福祉協議会	福祉大学等住民への福祉啓発講座	主に 60 代以上の方（講座内容により参加者の傾向に変動 あり）	運営側 5 名以上、参加者 50 名以上
	福祉まつりの開催	住民全般	運営側 50 名以上、来場者 1,000 名以上
図書館協議会	ビブリオバトル方式による「中高年の読書会」（年 4 回開 催）	自主サークル「みよし読書愛好会」と、中央図書館の共催 で、中高年層を対象に参加者を募集	運営スタッフ、発表者、見学者、合わせて 20 名前後

2. これからのみなさんの活動の広がり

	①活動内容	②活動を知ってもらい参加してもらいたい人	③主な理由
藤久保小学校 PTA	藤久保小学校 PTA (PTA 活動の PR)	だれでも	PTA 広報誌など、公民館においてあるが、一般の方が手に取ることは少ないと思われる。 どのような活動が行われているかこれから小学校に通う予定の小さな子どもを育てている家族やお孫さんがいる方、地域の方にも知ってもらいたい。
ボランティア連絡会	福祉将棋・囲碁の会	春休み中に小中学生に指導したい 今迄も各児童館等に出張指導等の実績有り 福祉施設の指導実績も有り	世代交流を計り、新しい参加者も求めたい
	三芳町ボランティア連絡会	町のイベント等に参加して新しいグループの参加を求め、会員増を計りたい できれば常時 P R 等ができ対話をするスペースがあれば良い	更にボランティア活動を盛り上げたい
協働のまちづくりネットワーク	協働のまちづくりネットワーク	まちづくりに関心のある多くの町民の方々	・まちづくり活動をもっと多くの町民に方々に知ってもらおう。 ・多くの活動団体の横の繋がりを強化するネットワークをつくる。 ・市民活動センターの活用を活性化する。 ・市民団体活動の情報を発信する拠点になる。 ・地元の事を野菜販売等を通じて、知ってもらい愛着を持つきっかけにしたい
協働のまちづくりネットワーク	ミニ版広報（二区だより） 藤久保第 2 区集会所開放日を設け（月／1 回）13：00～16：00 1 階ホール：輪投げ・室内ペタンク・ダーツ・囲碁将棋 2 階和室：絵はがき・折り紙・お茶会	小学生～高齢者 普段、親子との会話が乏しい家庭を中心に呼びかけ（毎月の二区だよりで広報）自由な時間に遊んでもらう。	核家族の中、高齢者の皆さんと触れ合うことで学校の教育活動とは違う、課外活動を通じて社会のルールやマナーを養ってもらおう。
	まちづくり見本帳の情報発信 地域活動団体やボランティア団体、趣味のサークル活動	ワークランジとして市民活動の場が一般の人々にも気軽に参加してもらおう。	特定団体の使用、定期的団体の使用だけが活動する場所にならないよう、気づく、知る、参画出来る居場所にしてもらいたい。
区長会	トークイベント	三芳町在住の方なら誰でも	多世代、多様性の高いイベントとしたいため、誰でも参加できるイベントとしたい
社会福祉協議会	市民活動団体見本市	子ども～就労世代 ※ 高齢世代も含む	様々な年齢層の方に、様々な市民活動を知ってもらい、体験を通じた福祉活動を知って頂き、活動へつなげる機会を設けたい。
	多文化・世代間交流イベント	全世代	外国籍の方に協力してもらい、お国自慢料理イベントを開催することで、多文化・世代間交流の機会を創設したい。

3. 藤久保地域拠点の使い方

	①使いたい場所	②使い方	③主な理由
藤久保小学校 PTA	コミュニティスペースまたは、掲示スペース	活動の様子を掲示。 ベルマークやインクカードリッジの回収など地域の方にも協力してもらえたらと思っている。	多くの方に知ってもらいたいから
ボランティア連絡会	多目的ホール	囲碁・将棋の対局場として使いたい 参加者が多いため月2回は使えればベストだが	机・イスの対局で参加者が多いため
	市民活動センター等	他市を参考に、町づくり協議会が使えるスペース できれば常時誰かが居るとい形にして活動を広げたい	町づくり・ささえあい・ボランティア活動のすべてが機能的に活動できる場所、交流できる場所がほしい
	学童室	世代交流と囲碁・将棋の楽しさを教える場として、月2回位の時間があればうれしい	
協働のまちづくりネットワーク	コミュニティスペース及び市民活動センター	町内に沢山ある各団体やグループの横の繋がりを強化し、その情報を発信出来るしくみ作りとしたい。	各団体の活動状況を多くの町民の方々に知って頂き、世代を越えた活動が生まれ、継続する活動を支援できる道具となるしくみにしたい。
区長会	低層案④ 学年スペースと中庭を利用した、生涯学習の拠点として三芳町伝統芸能の文化などを置いてもらいたい。	三芳町の歴史（三富開田）：写真・民族資料・お囃子・ミニ山車	住民の方々に可視化による歴史を学ぶ事により、町への愛着と発信拠点に寄与して欲しい。
	居場所 コワーキングスペース・コミュニティスペース・カフェ等をフラットの導線で一体化する	機能制ゾーニングとして、民間に委託管理する。(例：B I Z comfort)	利用頻度にもよるが、民間のサービスと複合施設の顔として、委託費用の還元に期待できる。
	緑化活動 産地地消の一環として、周辺の緑化、屋上の緑化	ワークテラスとして、循環型農法（井戸水～栽培～収穫～堆肥）	三芳町特有の緑大地を生かした、土壌の利用を生かし、小樹木や野菜の栽培に特化する。
公募町民	コミュニティスペース カフェ	トークイベントの会場にしたい。	コーヒーを飲みながらリラックスした場所でイベントを楽しんでもらうため
社会福祉協議会	コミュニティスペース	活動内容を紹介する常設の情報提供コーナー	様々な方に取り組みを知って頂きたい
	コミュニティスペース	子育てセクションと協働で、子どもボランティアグループの育成、活動の発信を行いたい。 ⇒ 拠点内外における子どもができるボランティア活動の実施。	子どもが地域活動に参画する機運をつくりたい。
図書館協議会	コミュニティスペース 広場、屋根付き中庭広場 公民館の多目的室 など	児童・生徒を対象の読み聞かせやお話し会、紙芝居 夏休みの科学・工作教室 クリスマス会や新年のお楽しみ会 大人を対象にした音楽会、朗読会 等々	図書館は現在、児童・生徒を対象にした活動だけでなく、大人も対象に、年間を通して数多くの行事やイベントを開催しているが、これまでのように館内の狭い学習室だけでなく、左記のような場所が使えれば、いっそう活発で多彩な活動ができるようになる。